

報道発表資料  
(2019年8月26日発表英文リリース抄訳)

2018年9月6日  
エクイニクス・ジャパン株式会社

## エクイニクスと VMware がパートナーシップを拡大、 エンタープライズ・ハイブリッドクラウド変革を加速

VMware、エクイニクスを VMware Cloud on Dell EMC のグローバルコロケーションプロバイダーとしてサポート

インターフェクション(相互接続) およびデータセンターサービスをグローバルに展開するエクイニクス(Nasdaq: EQIX、日本法人代表取締役 兼 北アジア統括: 古田 敬、以下 エクイニクス) は、VMware とのパートナーシップを拡大し、Platform Equinix® 上で VMware Cloud on Dell EMC をサポートすることを発表しました。

デジタル変革を取り巻く環境はこれまでになく複雑になっています。企業は、多数のアプリケーションについて可用性、パフォーマンス、セキュリティ、信頼性の確保に注力する一方で、それらをコスト効率よく拡張性をもって運用することが求められています。こうしたニーズの進化に対応するため、エクイニクスと VMware は、お客様がエクイニクスの International Business Exchange™ データセンター(以下 IBX データセンター)に設置した VMware Cloud on Dell EMC を用いてアプリケーションをハイブリッドクラウドにすみやかに移行できるよう、そのソリューション開発において連携します。

VMware Cloud on Dell EMC は、フルマネージド・クラウドサービスとして、パブリッククラウドのシンプルさ、俊敏性、経済性に加えて、オンプレミスインフラストラクチャーのセキュリティ、コントロール、パフォーマンスを提供します。お客様は、Platform Equinix® 上で展開する Equinix Cloud Exchange Fabric™(以下 ECX Fabric) のインターフェクション(相互接続) サービスにより、プライベートかつセキュアなマルチクラウドへの接続を活用し、ハイブリッドクラウドのインフラストラクチャーを迅速に展開できるようになります。また、エクイニクスの幅広いデジタルエコシステムに ECX Fabric 経由で相互接続し、グローバルに何千社も存在する潜在的パートナーへのアクセスを獲得することもできます。

### 発表の主なポイント

- 今回のパートナーシップ拡大により、VMware はエクイニクスを VMware Cloud on Dell EMC のグローバルコロケーションプロバイダーとしてサポートします。これにより、ハイブリッドクラウドインフラストラクチャーの先進的イノベーションと、業界をリードするシステムとストレージが融合します。
- 2013 年以来、エクイニクスと VMware は Global 2000 企業が規模と複雑性の拡大するアプリケーションワークロードとデータに対応できるよう、ハイブリッドクラウドインフラストラクチャーの実現において協業を続けてきました。今回の協業拡張では、複雑なハイブリッドマルチクラウドの展開を簡略化し、お客様によるパブリッククラウド環境でのデジタルトランスフォーメーションの推進とエッジロケーションへの展開を支援します。
- 2018 年 8 月、エクイニクスは VMware と共に、AWS Direct Connect を利用している企業のハイブリッドクラウド構築のため、AWS Direct Connect を介した VMware Cloud on AWS へのプライベート接続の提供を世界各地のエクイニクス IBX データセンターにおいて開始しました。

- ECX Fabric は SDN ベースのオンデマンド・インターフェクションサービスです。企業の分散インフラストラクチャーと、世界最大規模のクラウドプロバイダーを含む他社の分散インフラストラクチャーを Platform Equinix 上で接続し、企業がデジタルトランスフォーメーションを推進するうえでのニーズに応えます。
- デジタルトランスフォーメーションの進展により、地域ごとのデジタルサービスをそのエッジロケーションで展開するニーズが高まっています。これにより、戦略的なクラウドサービスへのプライベートでダイレクトな接続が不可欠なものとなっています。エクイニクスの年次の市場調査「[グローバル・インターフェクション・インデックス \(Global Interconnection Index\) 第2版](#)」によれば、企業が新しいデジタルサービスを構築し、既存のワーカークロードを第三者のクラウドプラットフォームに移行するなかで、クラウドプロバイダーおよび IT プロバイダーとのインターフェクションの帯域は 2021 年までに毎年 98% のペースで増加すると予測されています。

## コメント

- IDC データセンターおよびクラウド担当リサーチヴァイスプレジデント リック・ビラーズ(Rick Villars)氏**  
「デジタルビジネスの推進では、IT の変革に加えて、アプリケーションの自動化と継続的な最適化を可能にするための、エンドツーエンドで完結したワーカークロードのモダナイズ計画が必要です。ここで重要な最初のステップは、遅延、耐障害性、データセキュリティの要件に応えながら、複数の共有クラウドまたは専用クラウド間でワーカークロードを最適に配置し、またそれらを容易に移動することを可能にする、相互接続されたハイブリッドクラウドモデルへの移行です。VMware Cloud on Dell EMC とエクイニクスのインターフェクションプラットフォームを統合したソリューションは、デジタルビジネスにおけるアプリケーション規模と複雑さの増加にすみやかに対応できる、接続性に優れたハイブリッドクラウド対応基盤をお客様に提供します」
- VMware CEO パット・ゲルシング(Pat Gelsinger)氏**  
「企業の IT インフラストラクチャーとしてハイブリッドクラウド・アーキテクチャの採用が急増し、これまで以上に高レベルの俊敏性、セキュリティ、可用性が実現できるようになっています。エクイニクスと VMware は、過去数年間にわたる協業において数多くの Global 2000 のお客様のニーズに応えてきました。今回のパートナーシップ拡大により、両社のお客様がエクイニクスのエンタープライズ向けサービスと、世界水準の VMware Cloud on Dell EMC ソリューションを活用できるようになります。エクイニクスとの協業を通して、お客様のデジタルトランスフォーメーションを加速させるハイブリッドクラウドソリューションを提供できることを楽しみにしています」
- エクイニクス CEO チャールズ・マイヤーズ(Charles Meyers)**  
「エクイニクスと VMware のパートナーシップは、クラウドファーストの世界における企業変革を実現するためのデジタル基盤を提供しています。エクイニクスと VMware は共同で、企業のセキュリティ、パフォーマンス、可用性の要件に応える VMware Cloud on Dell EMC の革新的なサービスを用いて、ハイブリッドクラウド・インフラストラクチャーのモデルを刷新しています。VMware の世界的なコンピューティング、ストレージ、ネットワーキングの技術と、エクイニクスのグローバルなインターフェクションプラットフォームの強みが組み合わされることで、お客様のデジタルビジネスにおけるハイブリッドマルチクラウドの展開が現実のものとなります。」

## 関連資料

- [VMworld Focus:ハイブリッドマルチクラウドの実現](#) [エクイニクスブログ] (英語)
- [エクイニクスと AWS Direct Connect を介した VMware Cloud on AWS](#) [Web サイト] (英語)
- [VMware Cloud on AWS を利用した強力なハイブリッド VMware インフラストラクチャーの構築](#) [エクイニクスブログ] (英語)
- [エクイニクス、グローバルプラットフォームを強化し、デジタルエッジにおけるグローバルビジネス向けインターフェクションを加速](#) [プレスリリース] (日本語)
- [グローバル・インターフェクション・インデックス 第2版](#) [マーケットスタディ] (日本語)

#### エクイニクスについて

Equinix, Inc.(Nasdaq:EQIX)は、世界で最も相互接続密度の高いデータセンターにおいて、世界中のトップ企業をそのお客様、従業員、パートナーに接続しています。世界 5 大陸、50 以上の市場をつなぐデジタルビジネスのためのグローバルプラットフォームとして、企業の皆様があらゆる場所で、あらゆる人やモノとつながり、デジタル化された未来を実現していくことを支援しています。[Equinix.co.jp](http://Equinix.co.jp)

#### 将来の見通しに関する記述について

本ニュースリリースには、リスクおよび不確実性を伴う将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした将来の見通しに関する記述において言及されている予測と実際にもたらされる結果との間には、大幅な相違が生じる場合があります。そのような相違を生じさせる要因としては、IBX センターの取得、運営および建設上の問題、Equinix の製品およびソリューションに関する開発、設置、および提供上の問題、既に買収しており、または今後買収する予定の企業との統合に関する想定外の費用または問題、新たに開設ないし取得したデータセンターにおけるお客様からの収益の大幅な欠如、適宜計画される資金調達の未完遂、既存の競合先ないし新規競合先との競争、キャッシュフロー余力の十分性あるいは未払負債ないし新規の負債を返済するための資金調達能力、主要お客様とのビジネスにおける損失あるいは減退、REIT(不動産投資信託)としての税制に関するリスク、Equinix, Inc.が米国証券取引委員会に適宜提出する資料に記載されているその他のリスクが含まれますが、これらに限定されません。詳細については、Equinix, Inc.が米国証券取引委員会に提出した直近の四半期報告書および年次報告書をご参照ください(ご要望に応じ、Equinix, Inc.より入手可能です)。エクイニクスは、このニュースリリースに含まれる将来の見通しに関する情報を更新するいかなる義務も負いません。

VMware、VMware Cloud on AWS、vSphere は、米国その他の法域における VMware, Inc.の登録商標または商標です。

#### 本リリースに関するお問合せ

エクイニクス・ジャパン株式会社  
コーポレート・コミュニケーション  
清水 桃香  
Email: [Marketing-Jp@ap.equinix.com](mailto:Marketing-Jp@ap.equinix.com)